

# スマートプレイヤー 操作説明書 V3.40

令和2年2月



株式会社

アイエスエー

〒173-0015 東京都板橋区栄町 7-17

TEL:03-6909-6442 / FAX:03-6909-6443

# 目次

1. 概略紹介.....	4
1.1 概要.....	4
1.2 特徴.....	4
1.3 魚眼映像での Fisheye Dewarping 操作注記事項について .....	5
2. ソフトウェアのインストール.....	6
2.1 インストール手順.....	6
2.2 開く及びプレイヤーのアンインストール.....	7
2.2.1 開く.....	7
2.2.2 アンインストール.....	8
3. 操作.....	9
3.1 メインインターフェース.....	9
3.2 メニュー .....	10
3.2.1 ファイルを追加 .....	10
3.2.2 プレビュー.....	11
3.2.3 ファイルの転送.....	11
3.2.4 デジタルズーム.....	11
3.2.5 ドラッグ/子画面切換え.....	12
3.2.6 フルスクリーン.....	12
3.2.7 確認.....	12
3.2.8 設定.....	12
3.3 再生インターフェース.....	13
3.3.1 ファイルリスト.....	13
3.3.2 画面配置.....	14
3.3.3 再生画面.....	16
3.3.4 再生コントロールバー.....	17
3.3.5 タイムライン.....	18
3.4 プレビュー.....	19
3.4.1 ファイルリスト.....	19
3.4.2 映像をプレビュー.....	20
3.5 ファイルの転送.....	23
3.5.1 ファイルリスト.....	23
3.5.2 設定.....	24
3.5.3 映像をプレビュー.....	24
3.6 確認.....	26
3.6.1 ファイルリスト.....	26
3.6.2 確認及び確認情報.....	26
3.7 設定.....	27
4. 互換性のある OS.....	28

<b>5. SmartPlayer バージョン-4.000.0000000.6 関連手順.....</b>	<b>29</b>
<b>5.1 パソコンインストール手順.....</b>	<b>29</b>
<b>5.2 操作手順.....</b>	<b>29</b>

## ご購入ありがとうございます

この度は弊社のプレイヤーをご使用頂き誠にありがとうございます。

この操作説明書はご購入頂きましたスマートプレイヤーシステムのインストール及び操作に関する参考資料として作成されております。今後のご使用時の参考資料としてこの説明書の保存を推奨いたします。

# 1. 概略紹介

## 1.1 概要

このプレイヤーは警備分野用の優れたプレイヤーソフトウェアで、再生、フレームチェック、知的追跡表示等の多様な機能を持っており、マルチ画面の同期再生、非同期再生にも対応しております。又、マルチチャンネル表示モード及び特注設定にも対応しています。

従来のプロセスバーに代えてタイムライン方式を採用しており、特注の高精度タイムライン設定が可能です。再生を実行するプレイモジュール、及びプラグイン適合モジュールの構造設計を採用しております。保守を行う際のバグ発生リスクを低減し、特注の要請に答えることができます。

## 1.2 特徴

- フレーム送り逆方向再生機能を持っており、多様な再生スピードに対応。
- 同時に複数のチャンネルを再生可能。
- 部分的なズームイン及びドラッグ機能（いわゆる電子 PTZ 機能）。
- 必要なシーンを迅速に見つけるための時間によるプレビュー機能。これらの期間のレコード同期再生に対応。
- 知的ビットストリーム再生に対応した装置は、映像上に知的イベント情報を表示。
- 悪意のあるビットストリーム変更を避けるためのフレーム確認機能、及びビットストリーム形式切換え機能に対応。
- 映像特性表示に対応。
- 最適化されたプレイヤー計画。
- 最適化された音声／映像同期計画。
- 最適化された高速再生計画、多様な早送り再生スピードが可能。
- 最適化されたタイムライン、映像表示方法の強化。
- 最適化されたファイルリスト管理。
- H.265、SVAC ビットストリーム対応。
- AVI、MP4 ファイル再生対応。

### 1.3 魚眼映像での Fisheye Dewarping 操作注記事項について

1)2020年2月現在、スマートプレイヤー(SmartPlayer)は、三種類存在します。

① General\_Player\_JAN\_IS\_V3.34.11.T.20150728

② DVR に於いて、USB メモリーに録画記録保存すると同梱される

「SmartPlayer」



NVR_ch1_main_20200218164554_20200218170108.dav	2020/02/18 17:02
NVR_ch1_main_20200218164554_20200218180000.dav	2020/02/19 9:43
SmartPlayer.exe	2020/02/19 9:45

③ SmartPlayer バージョン-4.000.0000000.6

2) Fisheye Dewarping 操作ができるバージョンは、③の 4.000.0000000.6 のみですので、注意願います。

① バージョン-4.000.0000000.6 で操作した場合。⇒図 1

② それ以外の SmartPlayer バージョンの場合⇒図 2

★Fisheye Dewarping 操作が出来ません。



図 2

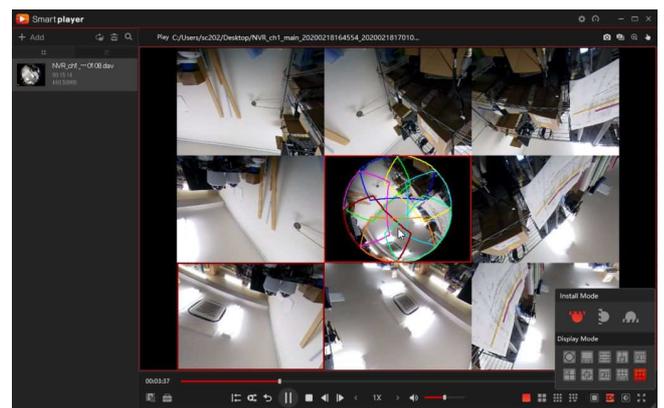


図 1

## 2. インストール

### 2.1 General\_Player\_JAN\_IS\_V3.34.11.T.20150728 バージョン インストール手順

下記の手順でインストールを行ってください。

手順1：プレイヤーのインストールファイルをダブルクリックしてインストールを開始します（図 2-1 参照）。



図 2-1

手順2：“Next” ボタンをクリックするとシステムはオプションページに入ります（図 2-2 参照）。同意書を読んで“ I agree”（同意します。）にを付け、インストールのディレクトリを選択します。“Install”（インストール）をクリックしてインストールページに入ります。

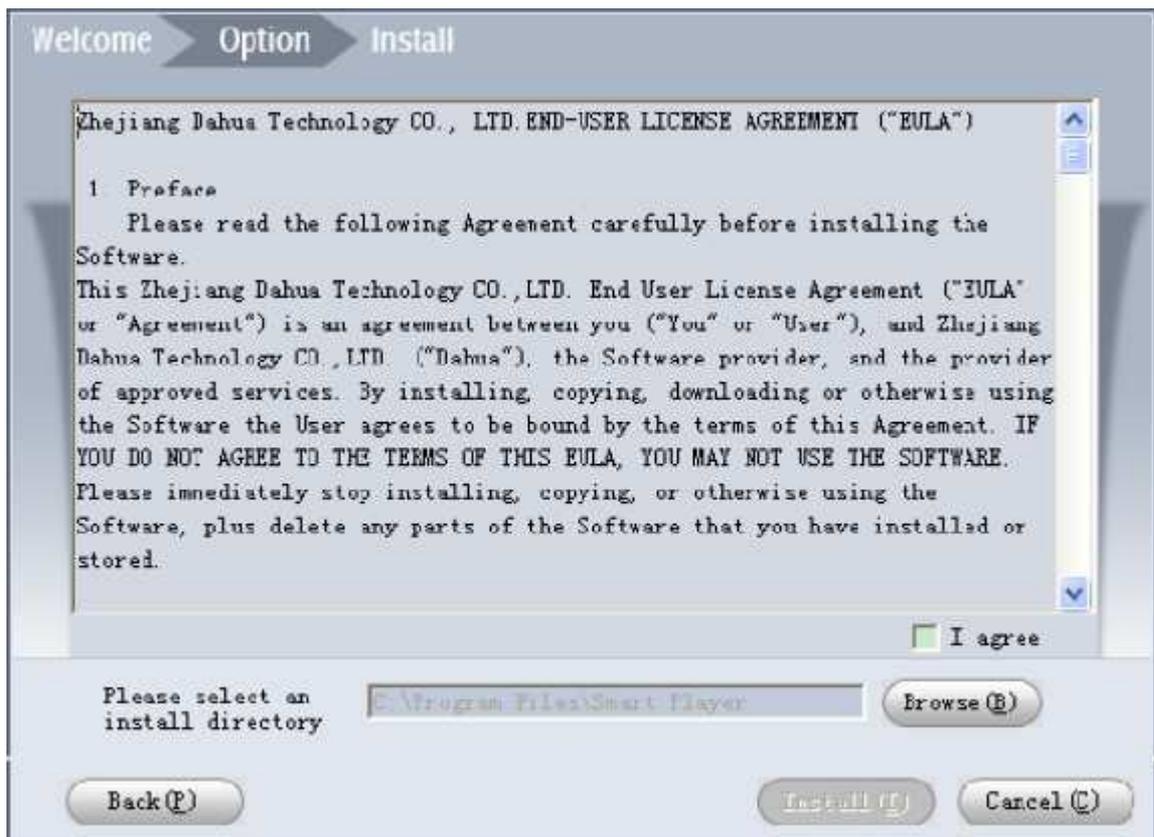


図 2-2

手順 3 : インストールの情報を確認して"Next" をクリックします。システムはプレイヤーのインストールを開始します (図 2-3 参照)。



図 2-3

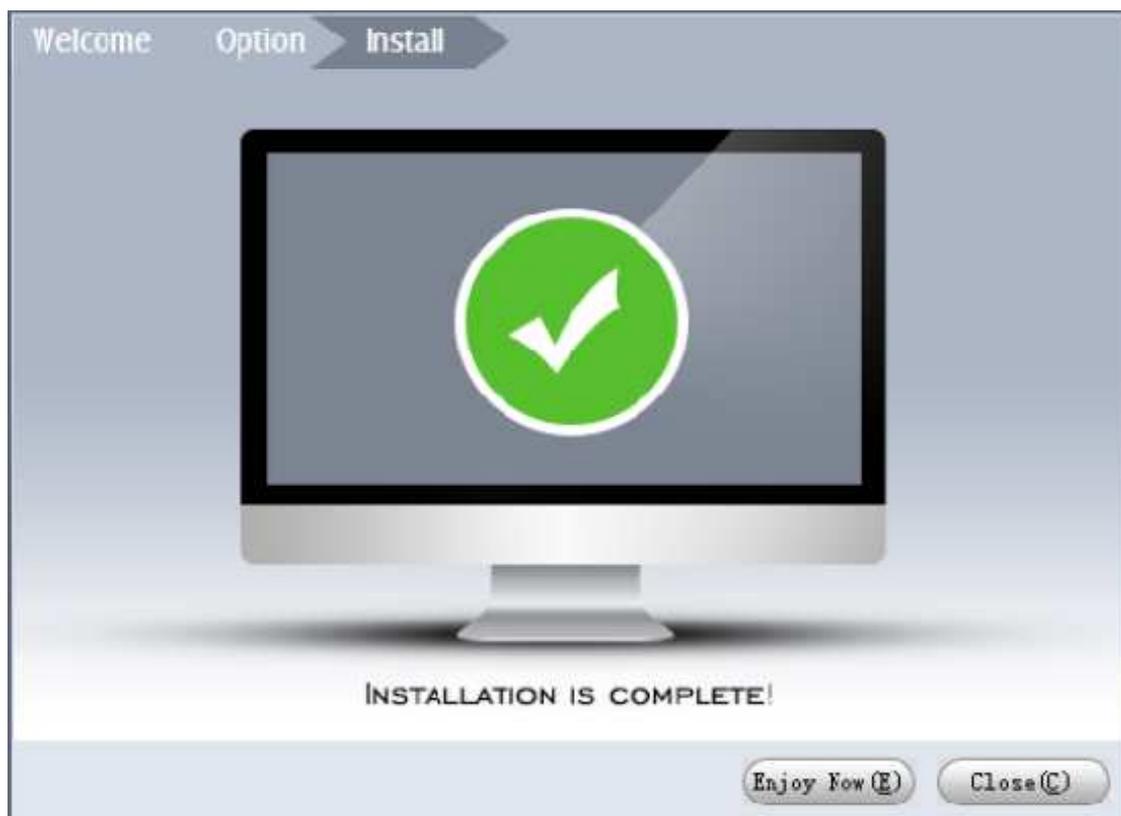


図 2-4

## 2.2 開く及びプレイヤーをアンインストール

### 2.2.1 開く

Start→All Programs→Smart Player→Smart Player と選択、又はショートカットアイコン



をダブルクリックしてランします。

### 2.2.2 アンインストール

Start→All Programs→Smart Player→Uninstall Smart Player と選択してプレイヤーをアンインストールします。

### 3 操作

#### 3.1 メインインターフェース

プレイヤーのメインインターフェースは図 3-1 を参照ください。

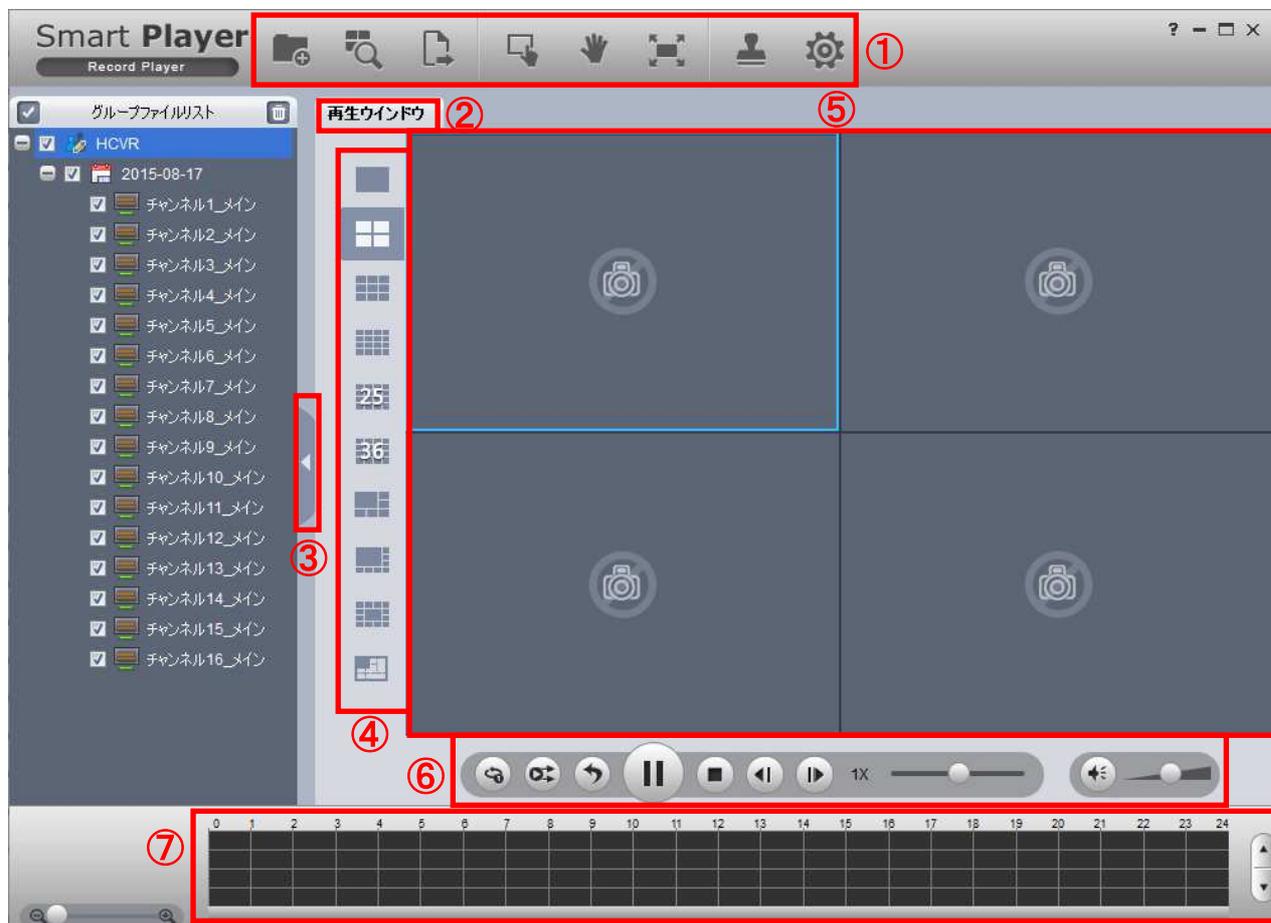


図 3-1

詳細は下表を参照ください：

番号	名称
1	システムメニュー
2	ページタイトルタブ
3	ファイルリストの“表示/隠す”ボタン
4	画面分割パターン
5	映像再生画面
6	再生コントロールアイコン
7	タイムライン

重要：

ページタイトルタブを閉じると、対応する動作も停止します。

## 3.2 メニュー

システムメニューは図 3-2 を参照ください。

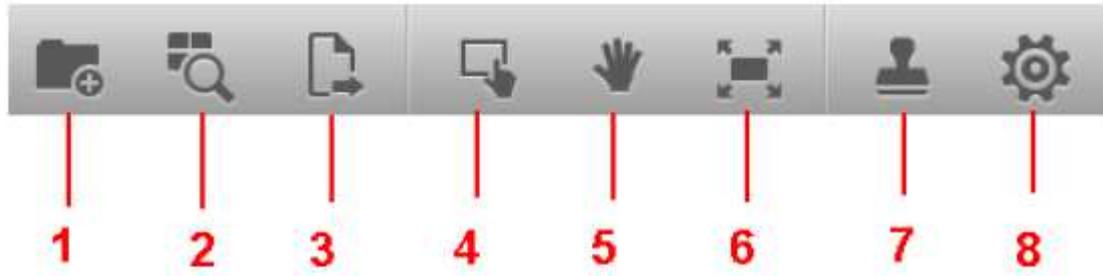


図 3-2

詳細は下表を参照ください：

番号	名称
1	ファイル追加
2	プレビュー
3	ファイル転送
4	デジタルズーム
5	ドラッグ
6	フルスクリーン
7	透かしチェック
8	設定

### 3.2.1 ファイル追加

図 3-2 のファイル追加ボタン  をクリックすると、“対話ボックスをポップアップ表示し、DAV 又は AVI レコードファイルを開きます。インタフェースは図 3-3 を参照ください。

注：

**dav** ファイルを選択して“OK”ボタンをクリックすると、システムは同じディレクトリ又はサブレベルの **dav** ファイルを自動的に追加し、対応するファイルリストに追加します。若し **dav** ファイル名がレコードファイル名の規則に適合している場合は、システムは対応するチャンネルのファイルリストに関連付けます。さもなければ、システムは現在のファイルを表示する新しいリストを作成します。現在のファイル追加動作は前の動作に基づいています。

助言：

**Dav** ファイル又はファイルを表示画面にドラッグできます。これはファイル追加ボタンを押すのと同じ効果となります。最後に開いたファイルがファイルリストに表示されます。

全てのファイルを選択し、 をクリックして全てのリストを削除します。

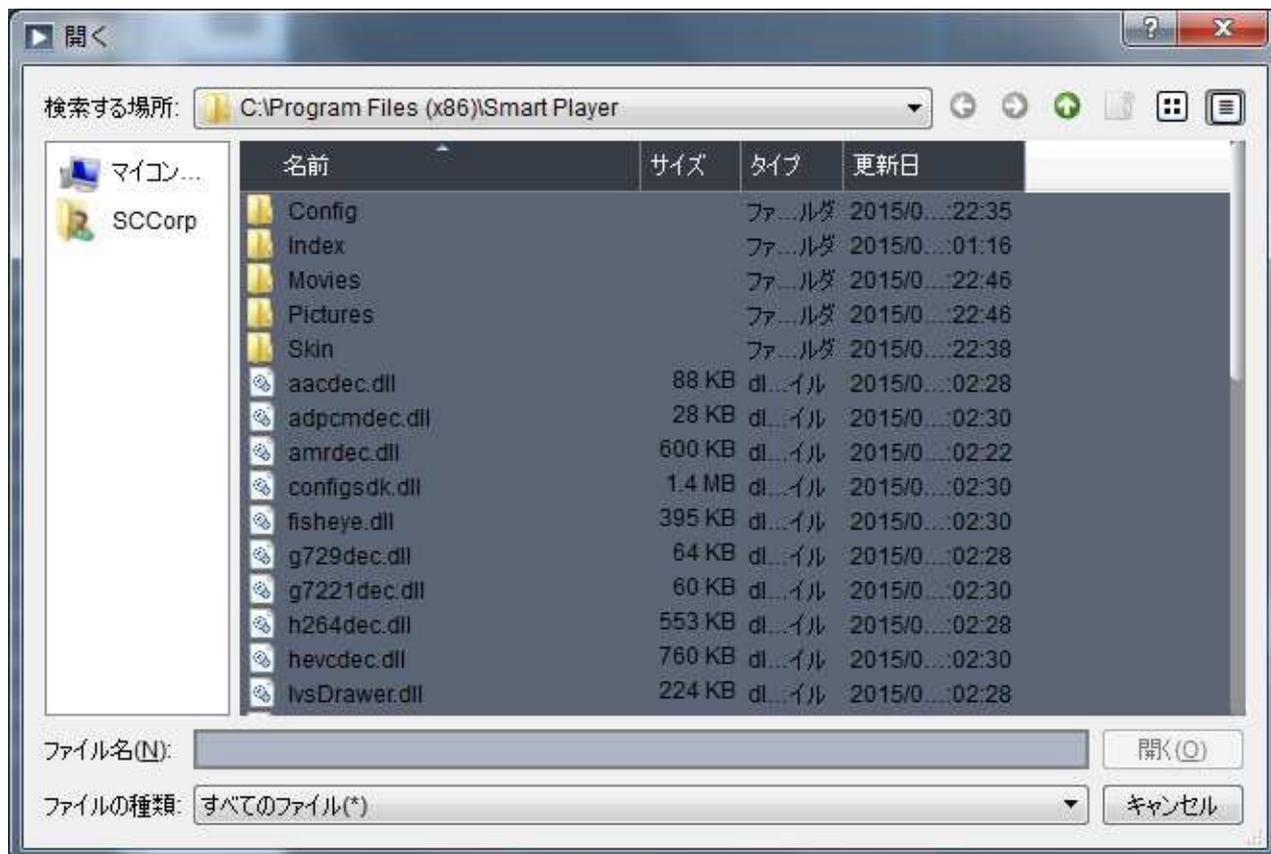


図 3-3

### 3.3.2 プレビュー

図 3-2 のプレビューボタン  をクリックしてグループプレビューインターフェースを開く、又は行きます。これは主に 1 つのファイルを複数のグループでプレビュー用です。詳細は第 3.4 章を参照ください。

### 3.2.3 ファイルの転送

図 3-2 のファイル転送ボタン  をクリックしてファイル転送インターフェースを開く、又は行きます。これは主に指定のレコード画面又は映像の転送用です。詳細は第 3.5 章を参照ください。

### 3.2.4 デジタルズーム

再生インターフェースのデジタルズームボタン  をクリックし、マウスの左ボタンをクリックして赤い口を広げて左ボタンを離すと、システムは指定の赤い口内をズームします。右クリックで終了します。

(図 3-4 参照)。

注：システムは一部の指定ズームインスピードには対応しますが、クリックと同じ程度のズームインはできません。マウスの右ボタンをクリックして再生画面に戻ります。

参考：マウスのカーソルが中心に有る場合は、マウスのセンターボタンを使用して映像のズームインができます。

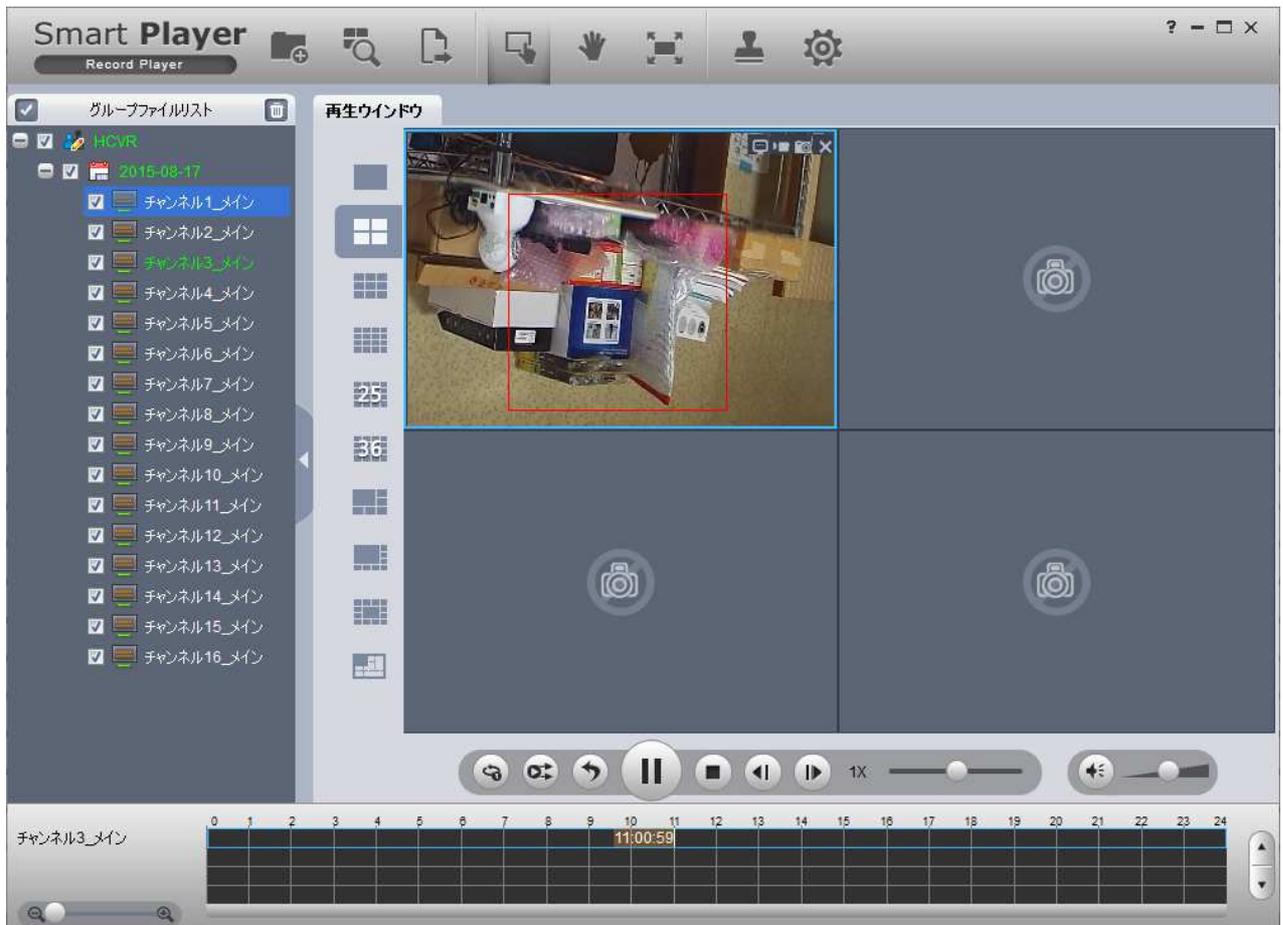


図 3-4

### 3.2.5 ドラッグ／子画面切換え

再生インターフェースでドラッグボタン  又は画面入れ替えボタン  をクリックして、これらの2モードで再生画面をコントロールできます。システムがドラッグモードの時、マウスインジケータは手のひらアイコンになります。若しデジタルズーム機能を実現している場合、ドラッグ操作を使用して画面を動かすことが出来、表示されている以外の隠れている範囲を見ることができます。若しシステムが画面切換えモードの時、1つの画面を別の画面にドラッグして画面入れ替え操作を実現できます。

### 3.2.6 フルスクリーン (Full Screen)

再生インターフェースで、フルスクリーンボタン  をクリックして再生画面が全画面を占有することができます。この機能は長時間の映像モニタ又は録画画像再生に最適です。キーボードの“Esc” ボタンをクリックしてプレイヤーのメインインターフェースに戻します。

### 3.2.7 透かしチェック (Verification)

確認ボタン  をクリックして透かしチェックインターフェースに行く、又は開きます。これは主に1つ又は複数のレコードファイルの確認操作作用です。詳細は第 3.6 章を参照ください。

### 3.2.8 設定

設定ボタン  をクリックして設定インターフェースに行く、又は開きます。このインターフェースでプレイヤーのスナップ保存パス、形式、映像クリップの保存パス及び形式、再生画面比率、知的トラック有効/無効、プレイヤーの言語を設定します。詳細は第 3.7 章を参照ください。

### 3.3 再生インターフェース

再生インターフェースは図 3-5 を参照ください。

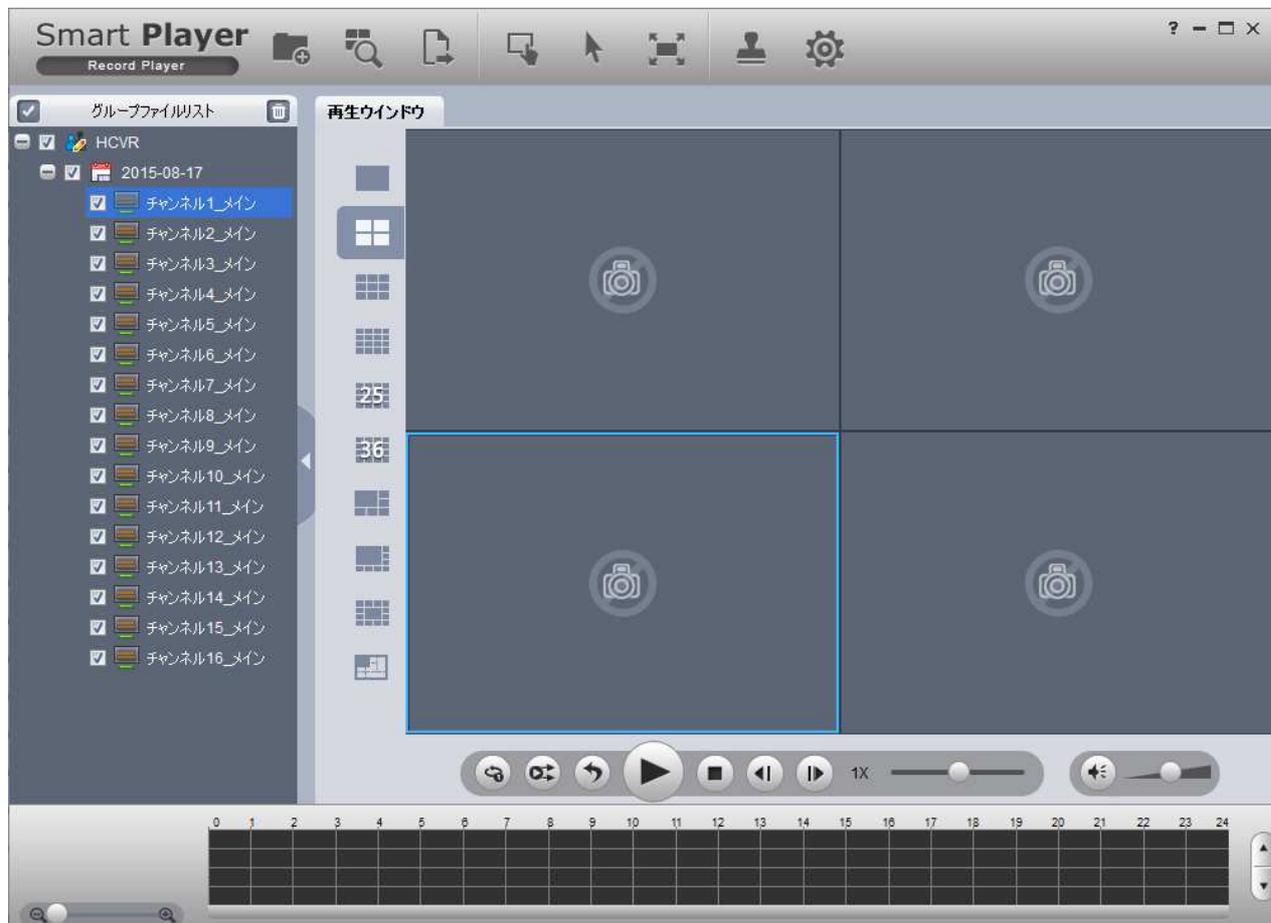


図 3-5

#### 3.3.1 ファイルリスト

ファイルリストインターフェースは図 3-6 を参照ください。

グループファイルリストは追加されたファイルホルダ、ファイル及び同じディレクトリのレコードファイル表示します。現在の再生ファイルは緑色で表示されます。グループ名をチェック又はグループ名をダブルクリックしてレコードグループを選択します。  をクリックしてリスト上の選択したファイルを削除します。若し再生、ファイルの転送又は検索を行っている場合、適切なポップアップ対話ボックスが表示されます。



図 3-6

### 3.3.2 画面配置

ここでは再生画面のサイズ及び位置を決めます。一般には9タイプが有ります。ユーザ指定の配置も可能です。配置ボタンをクリックして画面表示モードを選択します(図 3-7 参照)。

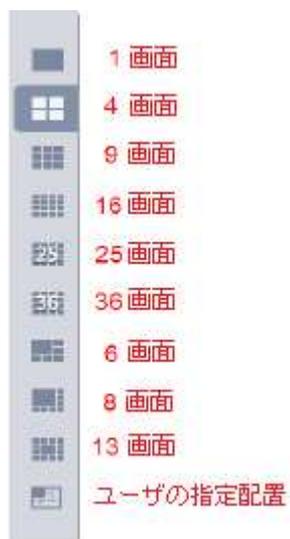


図 3-7

ユーザ指定配置ボタン  をクリックすると、下図のインターフェースが表示されます。マウス操作で画面分割方法を決め、行及び列の画面配置を設定し、“OK” ボタンをクリックして設定を保存します（図 3-8 参照）。

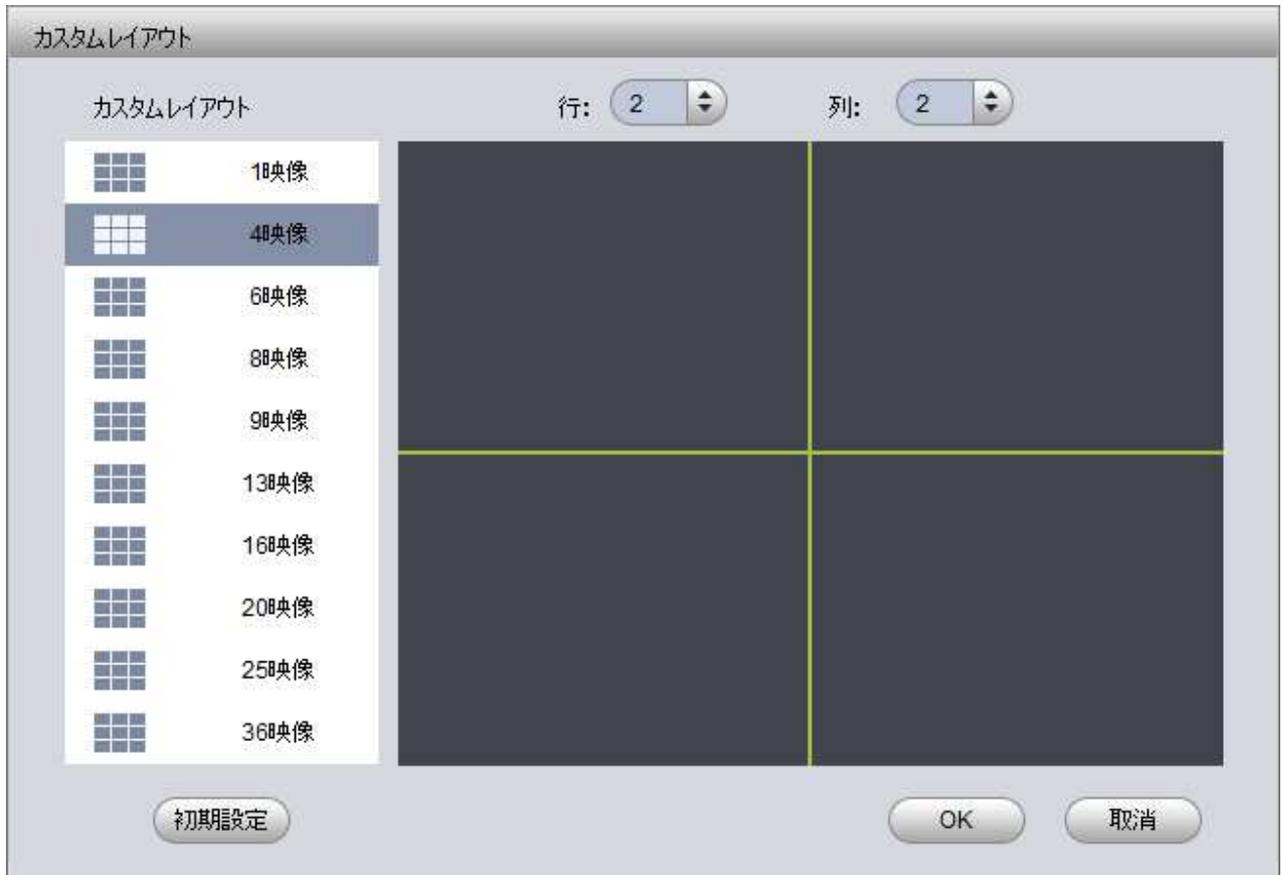


図 3-8

注：  
全てのポップアップ画面は“Esc”を押して終了します。

### 3.3.3 再生画面

再生画面はファイル名、時間等のレコードファイルに関連する情報を表示します（図 3-9 参照）。

注：  
現在のレコードが時刻の重ね書きができる場合は、再生画面上に時刻が表示されます。さもないと、時刻情報は表示されません。



図 3-9

マウスを任意の画面上に移動すると、図 3-10 のコントロールバーが右上コーナーに表示されます。

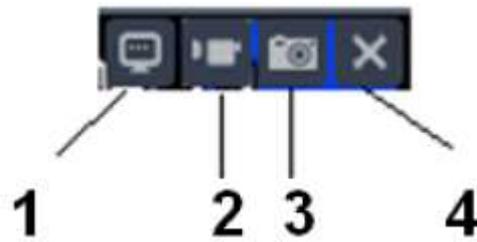


図 3-10

詳細は下表を参照ください：

番号	名称
1	映像特性
2	クリップ
3	スナップショット
4	映像を閉じる

- 映像特性：  をクリックすると図 3-11 の映像特性が表示されます。



図 3-11

- クリップ：レコードを編集します。先ずファイルを再生し、 をクリックしてクリップを開始します。再度このボタンをクリックするとクリップ操作は完了です。これで新しいファイルを取得します。”)に行き、保存パスを設定します。
- スナップショット：(設定)  をクリックして1枚の映像を撮影し、設定に行き、保存パスを設定します。
- 映像を閉じる： をクリックして現在の映像画面を閉じます。

### 3.3.4 再生コントロールバー

再生コントロールバーは図 3-12 を参照ください。

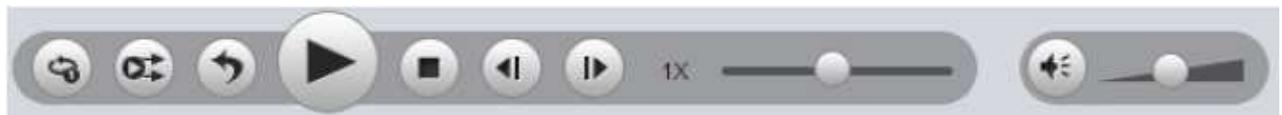
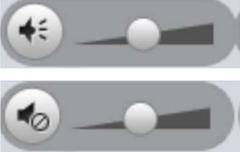


図 3-12

詳細は下表を参照ください：

ボタン	説明
 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ボタンが明るい時は、システムは1回繰り返し処理</li> <li>● ボタンが灰色の時は、システムは順序再生処理</li> </ul> <b>注：再生が非同期時に有効。</b>
 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ボタンが明るい時は、システムは同期再生処理</li> <li>● ボタンが灰色の時は、システムは非同期再生処理</li> </ul> <b>注：これはグループ再生モード用。</b>
 	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ボタンが明るい時は、システムは逆方向再生処理</li> <li>● ボタンが灰色の時は、システムは順方向再生処理</li> </ul> <b>注：再生が非同期時に有効。</b>

	再生及び停止ボタンで複数画面のポーズ、再生を実行
	全再生画面を停止
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ポーズモードでは前のフレーム、次のフレームを再生。</li> <li>●再生モードでは前のグループ、次のグループを再生。</li> </ul> 注：システムがグループ再生のときは全グループ。 システムがグループ再生モードではない時は現在の画面のみ。
	スピード設定： <ul style="list-style-type: none"> <li>● 1/2、1/4、1/8、1/16、1/32、1/64</li> <li>● 1x、2x、4x、8x、16x、32x、64x</li> <li>● -1/2、-1/4、-1/8、-1/16、-1/32、-1/64、-1、-2、-4、-8、-16、-32、-64</li> </ul>
	音量設定：音量及びミュート設定。 順方向再生ではシステムは音声の再生が可能。

### 3.3.5 タイムライン

ファイルを再生するためにダブルクリックすると、システムは自動的にタイムラインを追加し、それぞれの画面のリアルタイム再生時間を表示します。

全てのレコードグループの同期再生をチェックすると1つのタイムラインのみとなります

(図 3-13 参照)。

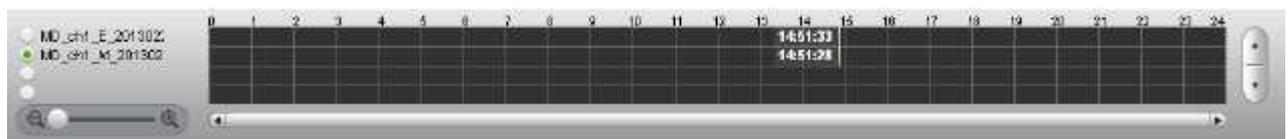


図 3-13

さもないと、図 3-14 のように表示されます。

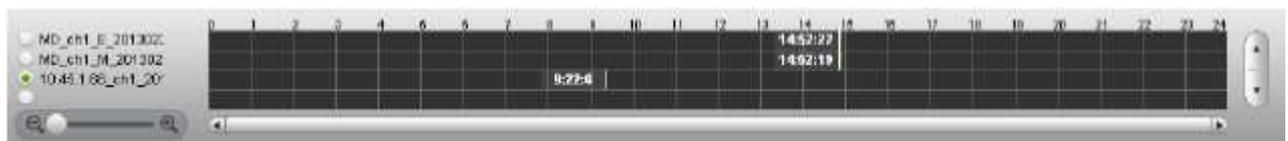


図 3-14

システムが複数画面モードで再生している時、切換え集中画面をクリックすると、タイムラインは現在選択している画面の時間をその中心として表示します。

### 3.4 プレビュー

プレビューボタン  をクリックして下記のインタフェースに行きます。ここでは映像を時間で  
見ることができ、必要な映像を迅速に見つけることができます。グループプレビューを実行したい  
ファイル又はホルダをダブルクリックすると、システムはレコードを時間で **N** (**N**=設定したインタ  
フェース数) 部分に分割します。それぞれの期間を個々にプレビューすることができます  
(図 3-15 参照)。

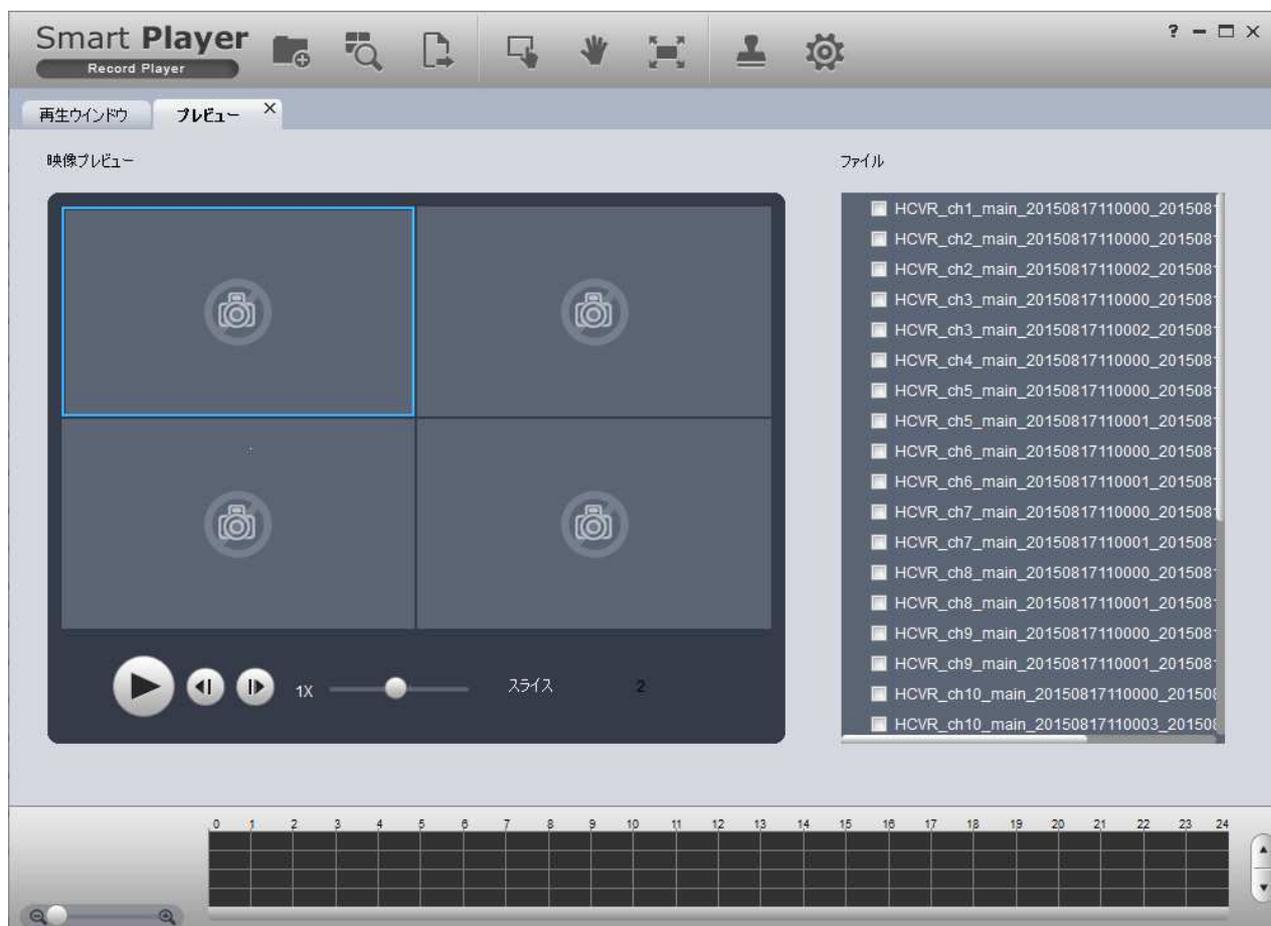


図 3-15

#### 3.4.1 ファイルリスト

現在選択されているファイルリストが右側に表示されます。これは再生インタフェースと同じです  
(図 3-16 参照)。

注：

グループプレビューはシングルレコードのみです。レコードリストにはレコードグループは有り  
ません。

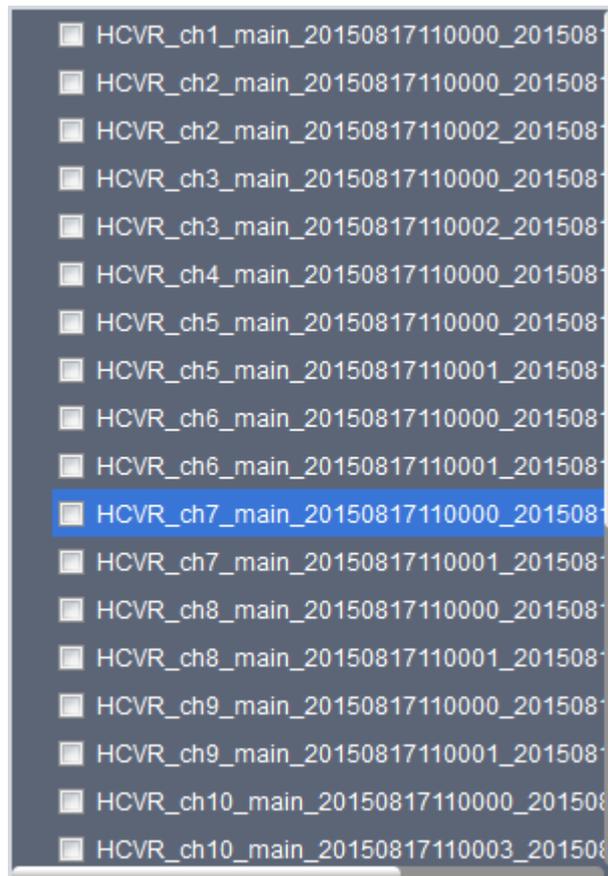


図 3-16

### 3.4.2 映像プレビュー

リスト内のファイルをダブルクリックすると、システムはレコード時間を区域の数によって分割し、それぞれの映像を表示します（図 3-17 参照）。例えば；レコードが 2:00:00 ~ 3:00:00 で、選択された区域が 4 の場合、システムは 2:00:00、2:15:00、2:30:00、2:45:00 を表示します。

注：システムは索引の作成に多少の時間を要しますのでお待ちください。

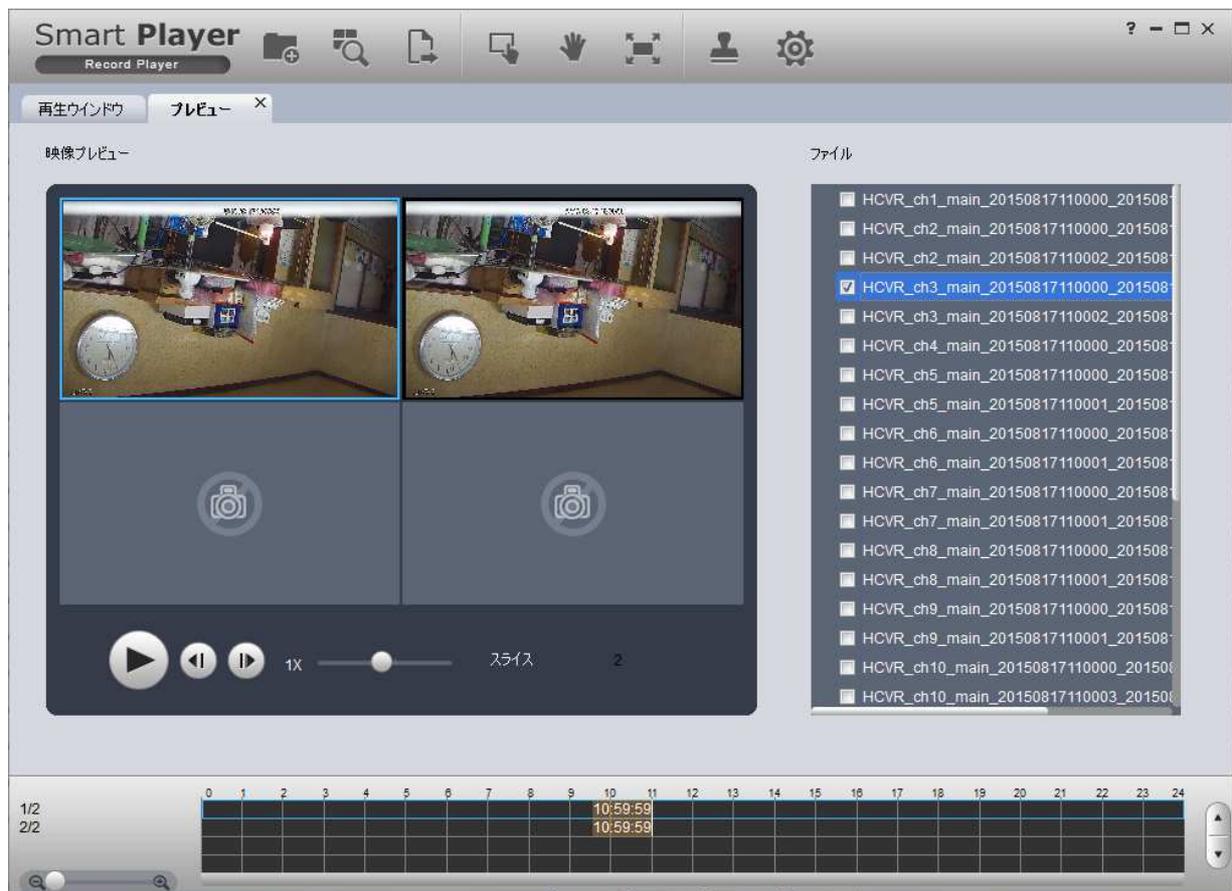


図 3-17

システムが区域を作成したら、対応する時間を選択して再生します。

対応する再生時間の画面を選択します。

再生ボタンをクリックすると、対応する画面は表示された時間～再生を始めます。ポーズ、フレーム送り再生、早送り再生、スロー再生等の操作ができます。



### 3.5 ファイルの転送

転送ボタン  をクリックして図 3-19 のファイル転送インターフェースを表示します。

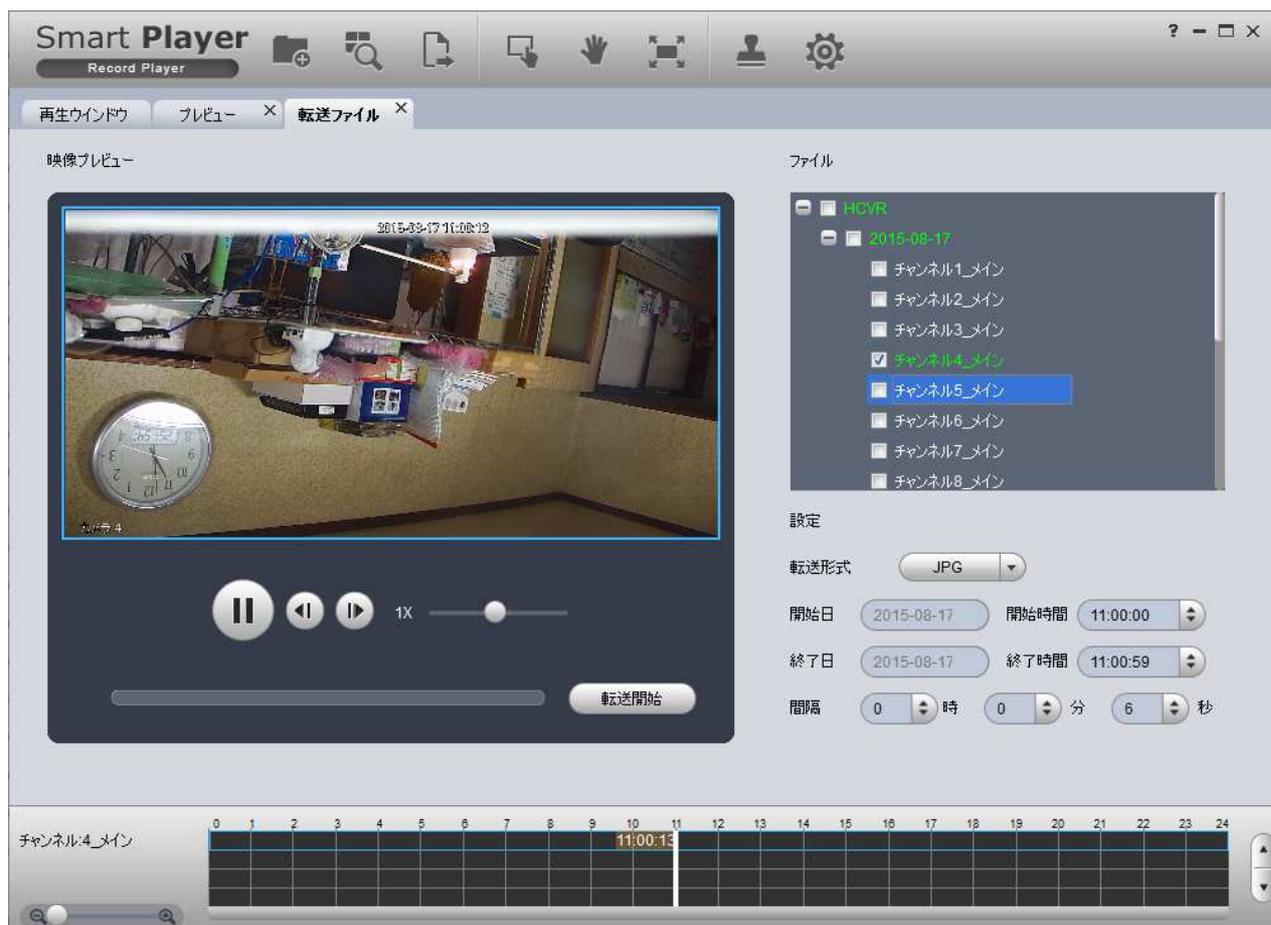


図 3-19

転送したいファイルを選択し、プレビューを使用して期間を設定します。転送するデータの形式は JPEG、BMP、DAV、AVI に対応しています。

注：ファイルの転送時に AVI ファイルを転送すると、DAV レコードのフレームレートの切換えにより複数の AVI ファイルが生成されます。

#### 3.5.1 ファイルリスト

右側のファイルリストは現在選択されているホルダの全てのレコードを表示します。これは再生インターフェースのレコードと同じで、グループレコードと一般レコードが有ります。同じ日の同じグループのレコードを一括転送できます（図 3-20 参照）。

転送したいレコードをチェックして選択する必要が有ります。

- 1 日の全チャンネルのレコードを選択するために 1 グループの日付を選択します。
- 1 日の 1 グループのいくつかのチャンネルをチェックします。
- 1 つのファイルをチェックすると現在のプレビューチャンネルがハイライトになります。

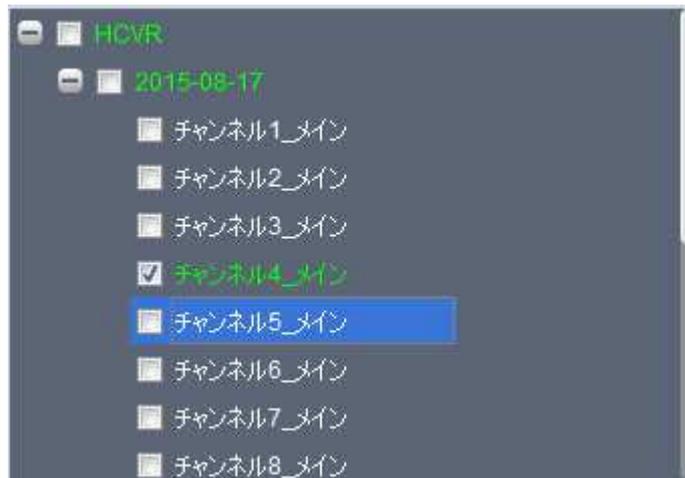


図 3-20

### 3.5.2 設定

設定インターフェースは図 3-21 を参照ください。



図 3-21

詳細は下表を参照ください：

項目	説明
転送形式	転送形式は JPG, BMP, DAV, AVI が可能。 前の 2 つは静止画モードで、後の 2 つは動画モード。
開始日/開始時間	ファイルの開始時間を設定；タイムラインの左の数値に相当する。
終了日/終了時間	ファイルの終了時間を設定；タイムラインの右の数値に相当する。
間隔	映像の転送間隔を設定。映像の転送のみ。

### 3.5.3 映像のプレビュー再生

再生：ファイルにチェックを入れると映像プレビューインターフェースは再生リスト又はハイライトになっているチャンネルのレコード又は映像からファイルを再生します。同時にポーズ、フレーム送り再生、スロー再生、早送り再生ができます（図 3-22 参照）。



図 3-22

転送：パラメータを設定して転送開始ボタンをクリックし、保存パス（保存場所）を設定して開始します。転送処理バーが表示されます。又は“転送停止”ボタンをクリックして終了します。転送操作後に“転送が終了しました”の対話ボックスが表示されます。（図 3-23 参照）。

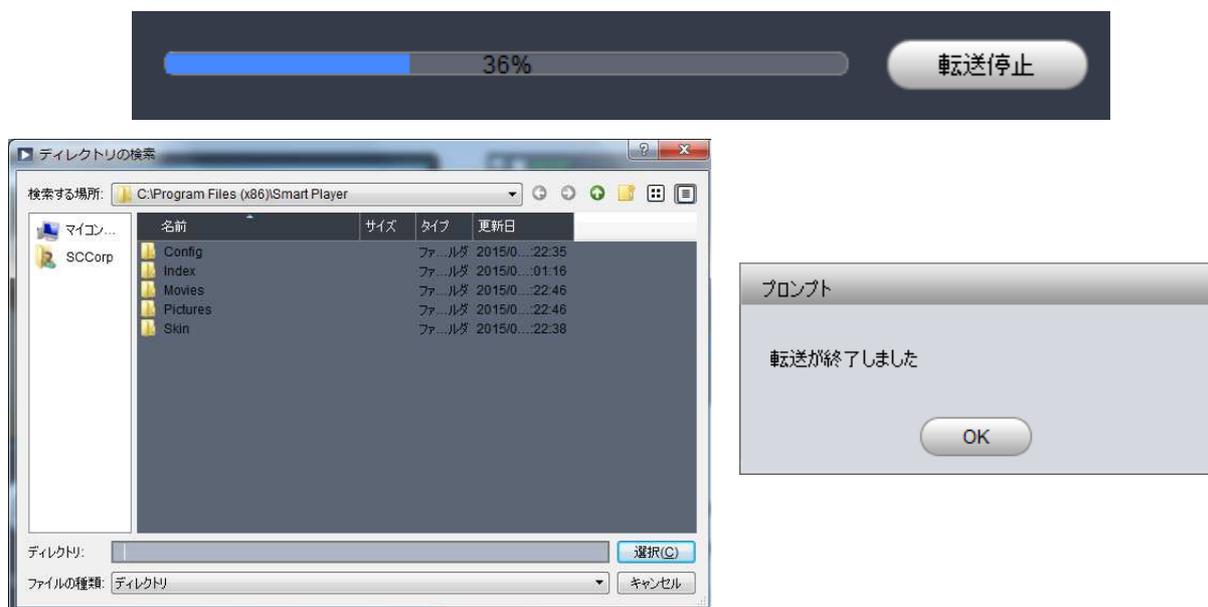


図 3-23

### 3.6 確認

システムメニューの透かしチェックボタン  をクリックして確認インターフェースに行きます。確認機能は選択されたレコードファイルが改ざんされているか又は改ざんされていないかをチェックします。

#### 3.6.1 ファイルリスト

全てのレコードファイルが左側の枠内に表示されます。レコードグループ又は一般レコードが有ります。対応するボックスに✓を付けてチェックするファイルを選択します（図 3-24 参照）。

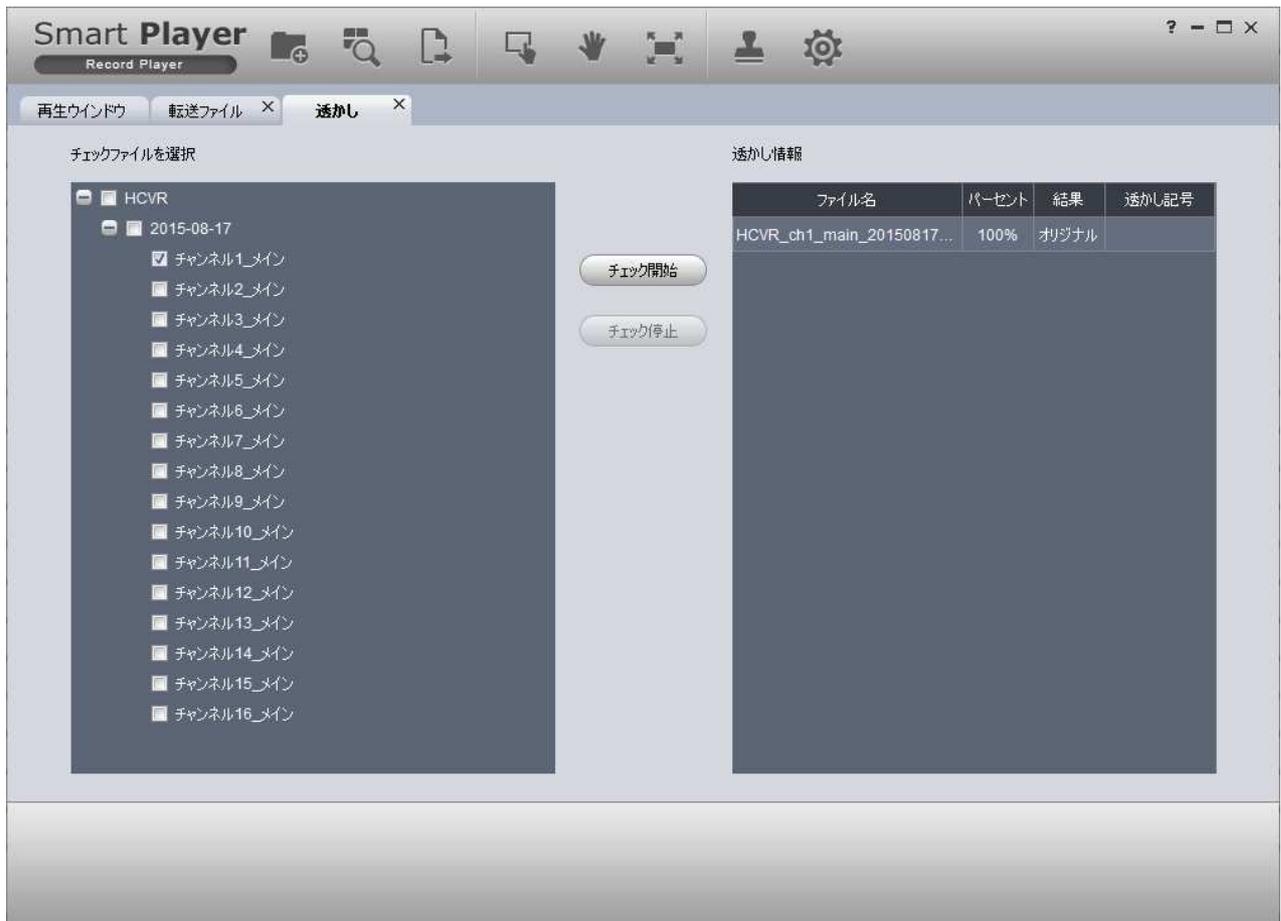


図 3-24

#### 3.6.2 確認及び確認情報

先ずレコードファイルを選択し、「チェック開始」ボタンをクリックして処理を開始します。レコードパス、パーセント、チェック結果等が表示されます（図 3-25 参照）。

透かし情報			
ファイル名	パーセント	結果	透かし記号
HCVR_ch1_main_20150817...	100%	オリジナル	

図 3-25

チェック処理中に「Stop Check」ボタンをクリックして現在の動作を終了することができます。

確認情報の対応するレコード欄をダブルクリックして改ざん情報を表示することができます (図 3-26 参照)。

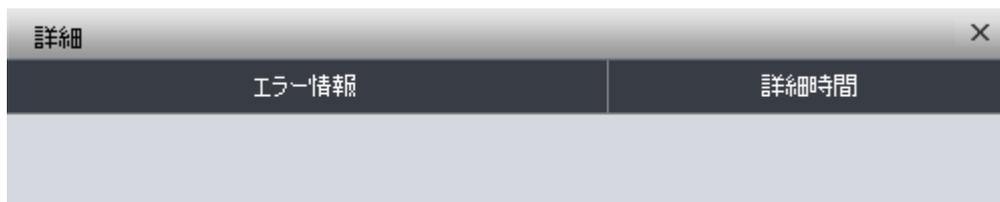


図 3-26

### 3.7 設定

システムメニューの設定ボタン  をクリックして図 3-27 のインターフェースを表示します。



図 3-27

詳細は下表を参照ください：

項目	説明
スナップパス／形式	再生インターフェースで“スナップ”ボタンをクリックすると、システムは設定した形式で指定のパスにスナップ映像を保存します。
映像経路／形式	再生インターフェースで“Record”ボタンをクリックすると、システムは設定した形式で指定のパスにレコードファイルを保存します。
映像比率	映像画面の縦横比を設定します。 4:3、16:9、100% の選択肢が有ります。
トレースを表示	知的トラックの表示／非表示を設定します。この機能はインテリジェント機能搭載装置のみです。
言語	日本語
垂直同期	垂直同期の有効／無効を選択します。

注：プレイヤーを閉じた後もシステムは現在の設定を保存できます。

## 4 互換性のある OS

基本的な必要条件	CPU : Intel P4 1.8GHz
	1G メモリ
	50MB の HDD 空きスペース
	解像度 : 24bit 1200 x 768
	マウス、キーボード、USB
	Microsoft Windows 95/98/ME/NT4.X/2000/XP
互換性の有る OS	<ul style="list-style-type: none"><li>● Windows Server 2003</li><li>● Windows Server 2008</li><li>● Windows XP</li><li>● WIN7</li></ul>

注記 :

- この説明書は参考資料として作成されており、実際のユーザインターフェースとは多少異なる部分が有ります。
- 説明書に記載されている全ての図面やソフトウェアはメーカーの必要に応じて書類による事前の通告無しに変更されます。
- この説明書に記載の商標及び登録商標は全てそれぞれの所有者の財産です。
- この説明書に関する如何なる疑問や論争に対しては弊社の最終説明を参照してください。
- この説明書の詳細については弊社の **web** サイトを見るか、又は御社担当の販売代理店にお訊ねください。

## 5 SmartPlayer バージョン-4.000.0000000.6 関連手順

### 5.1 パソコンインストール手順

- 1) 付属 CD より、図 1 を C ドライブ若しくは D に保存します。
- 2) 図 2 の様に、SmartPlayer.exe のショートカットをデスクトップに作成と致します。
- 3) これで操作が可能になります。

※弊社として、このバージョンを常時ご使用されることをお勧め  
しますので、拡張子.dav を PC 操作により関連付けして下さい。

### 5.2 操作手順(※バージョンにより形状等に相違あり)

- 1) デスクトップのショートカットをクリックする。
- 2) 図 3 の画面が立ち上がります。



図 3

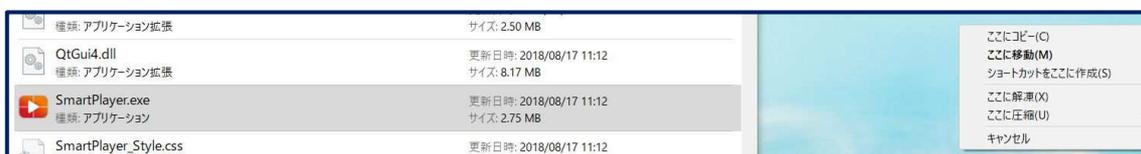


図 2

名前	更新日時	種類	サイズ
SmartPlayerバージョン-400000000006	2020/02/18 17:10	ファイル フォルダー	

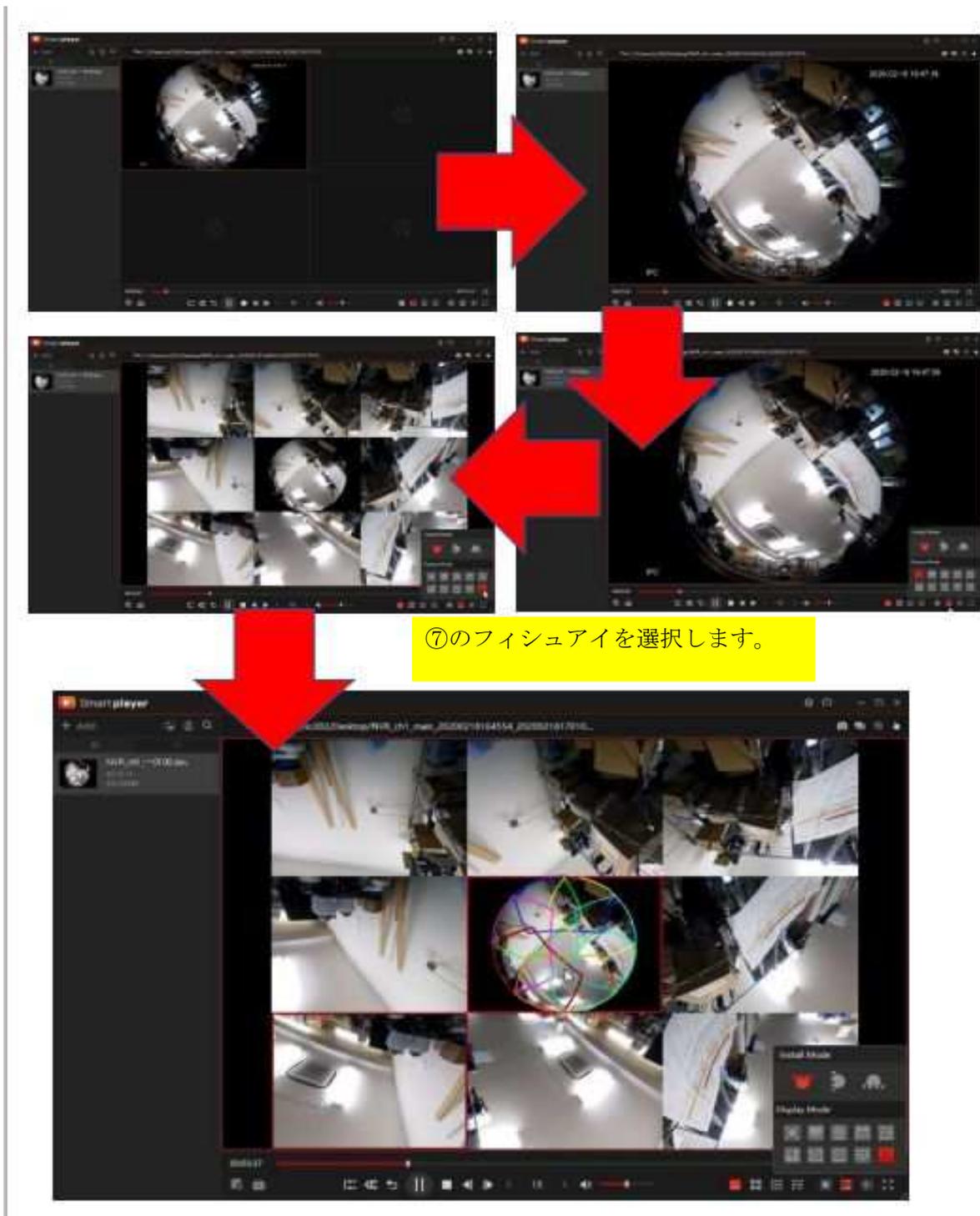
図 1

3)図 3 の画面が立ち上がります。



番号	名称	機能	
1	ファイル操作ボタン		映像ファイルを追加
			再生順序、昇順/繰り返し
			ファイルの削除
			ファイルリスト検索
2	ファイル領域	追加ファイルを表示します。	
3	ビデオクリップ		ビデオをクリップして映像をエクスポートの実施
4	ツールボックス		映像をパソコンにエクスポートします。
			映像情報の偽装有無確認をします。
			ビデオを多数スライスに切断して、同時プレビューします。
5	画面表示		画面を1画面にします。
			画面を4画面にします。
			画面を9画面にします。
			画面を分割選択することが可能です。
6	インナーズプリット		再生中の画像を多数に分割します。
7	フィッシュアイ		魚眼映像の表示方法(デワープ)の設定が可能です。
8	映像調整		映像画面の画質調整を行います。
9	フルスクリーン		映像を拡大表示します。
10	設定		スマートプレイヤーの設定項目
11	CPU		パソコンのCPUとメモリー情報の表示
12	スナップショット		画面のスナップショット
			画面の連続スナップショット
13	イメージコントロール		デジタルズーム動作
			デジタルズーム動作で、拡大した状況で画面をドラック移動可
14	ビデオウィンドウ		再生中の画像を表示します。
15	タイムライン		選択したビデオウィンドウの再生時間を表します。
16	タイムラインSW		タイムバーを表示します。

#### 4)魚眼動画に於ける動作一例



★中心のカラー枠を操作することにより、Fisheye Dewarping 操作が可能です。